日米

THE JAPANESE AMERICAN
PUBLISHED DAILY AT
650 ELLIS STREET
SAN FRANCISCO CALIFORNIA
PHONE PROSPECT 238
ENTERED AT S. F. POST OFFICE AS SECOND CLASS MATTER
K. ABIKO, EDITOR & PROP.
SUBSCRIPTION RATES IN ADVANCE
DAILY.....ONE YEAR..... $11.00
DAILY.....SIX MONTHS..... 5.50
DAILY.....ONE MONTH..... 1.00
SINGLE COPIES..... 5 CENTS

日米

軍縮雑感

協調か威壓か 軍縮か軍擴か

第二軍縮會議を開催すべく米國が日英米三國に對して正式の招待狀を發したる日に、米國は世に類例のない大航空艦の建造計畫を發表した。更に去る三月二日には米國議會は新巡洋艦十隻及チャタの搭載せる大砲砲身角度驚異其の他の一切の戰艦近代化の經費を通過して、同日クーリッヂ大統領の調印を終へた。更に太平洋岸の防備にしても、既に加州の沿岸にあの大飛行機基地を設置しやうとする計畫を發表された。

◇

これを第一軍縮會議の前に米國が、ダニエルス計畫の大軍擴張を始めて、超弩級戰艦十六艘を建造して列强が軍縮會議に應ずれば宜し、否と言へば大海軍を以て太平大西兩洋を壓せんとした身構へに發端したものである。今回は軍縮の目的たる武器が弩級戰艦の如く直接攻撃戰術の武器でなく、補助艦艇や空軍で守勢武器であるから、第一軍縮の如く、世界のセンセイションを驚いたばかりであるが、尚且つ日本軍縮を唱へ乍ら一方に軍備の擴張を計畫する精神は同一である。軍縮會議は平和を目的とする國際條約を生まんとしてゐる矢先に、斯く軍備の擴張を著しく進めるのは、はだ我等の不快とするところである。

◇

元れより日英とても同樣である。軍縮會議を提唱された後、故國議會では巡洋艦新造計畫を通過し、又オクラハマ州の沿岸にあの大飛行機基地を設置する計畫を發表した。更に太平洋岸の防備にしても、既に加

ユタ州排日土地案 遂に握り潰さる

ユタ州會十日夜閉會 公衆聽取會で失敗

ユタ州第十七議會も十夜の十當初同胞に不利の狀態である樣二時を以て遂に閉會した去る三月十五日オグデン選出上院議員ジョン・エス・ルッサ氏より法案贊成者ありしのみで、他は第九十九號の法案として所謂排日土地案が上院に提出される筈の運命も略決定された御來今日七日間は等しく其成行如何に至るまで七日間遂に議場にについて愛慮しつゝあつたのでその姿を現さなかつた。

ある、ルッサ氏提出の眞意は只日本人がよい土地を共に讀事の進行を妨げるため所有するといふ點のみにありしにシステング、コミテーを設ける時にしないが氏は極力けて議案の審擇をするのが例で日本人を排斥せんとする如事あるも、同委員會のために闇からダーン氏の敎書中には暗に排日電に排日電に惹れた議案は多數であるに言及しファーム、ビューローの所謂排日土地法案も憐れなるか會合も亦之に裏書し形勢は頗る此運命に遂つた一議案である

ツェッペリン東京へ飛ぶ

明年の夏決行 獨逸より四日

（セビラ十三日）ツェッペリン飛行船の大家ユゴー、エクケル博士は目下獨逸フリードリヒシャフエン市において建造中の飛行船完成の暁には北極廻飛行並に東京への飛行を敢行するさいふ。

ツェッペリン宣言した右飛行は明年夏期實行せらるべく博士の說によるさその前兆ツェッペリンは、アイレスまで飛ぶさいふ。

博士は北極へは三日間東京から四日位で到着して見せると

愛妻の死を悼み 現實の巷を去り

一勞働者として負傷し遂に死去した前比律賓島の知事 學者軍人のネイ氏

クリストファー、ネーさいへば曾てはフイリピンの總督の下に戰の英雄と歌はれた人であるが、その榮華の死後、いたく此れをの悲しみ爾來幾ばくか八年間さして放浪して居たが過日遂に五十六才を一期つたる中には大學の教授にして淋しくアイオワ州エームス市で逝つた。彼はその過去の生活をアメムスの大學町にしのびながら

町はずれの丸太小屋の一室に身を横たへ、地方の銀行に安全箱を置き都かに暮してゐたが彼の死後取り調べて見ると、その住者であつた彼の父は南北戰爭當時の勇者で、その子は、ウエストポイントの士官であり、軍人の士官であり、辯護士であり、タフト總督の下に比律賓で知事を勤めた光輝ある半生を有して、なつたさいふことが判つた時にそれは

打たれたのである

西本願寺青年會主催組劇團慰問團一行男十名、女二名は昨日午前本日の午前十時から、本願寺青年會主催の「組劇團」の慰問團長の大野開敎使夫人並に監督の敬意を表した、彼れの新しい團長の山村字知太郎氏に引率されて來組劇團は、一行横濱上陸後は京都西本願寺に集合し帝大や佛敎大學の學者であり軍人である人の心敎授達の佛敎女化講演を聽くこと

佛敎會整理に寄附の人々

昨日までに

佛敎會愛護會の負債整理に對し寄附した人々は左の諸氏である

△二百弗宛 細川重太郎、松尾要治

△百五十弗宛 陰山敏、二郎、柳本源平、板谷元一郎、沼波義貫

△百弗宛 佐々木芳照、田曾忠一、羽野芳平、坂井庫治、深井嘉造、里田依三、秦田治郎、的井宅治、農山長吉、吉村榮治、廣島敬子、濱之在一、檜垣益一、青木道圓、萩原五郎、中野作太郎、須川政治郎、一安博孝、別府學六、波多江實、中井佐市、佐藤兼造、馬

是々非々

日本からの電報が一寸杜絕したので不思議がつてゐる日本に大吹聲が變來したとが知れた、今度も却々被害少くない模樣だ、關西震災の報を聞いて間のない今日又此の天災を聞く何んぞ天帝の日本に惡戲の念入なることよ

▽車掌の女房を敎祖と仰ぐ邪敎があばかれて續々その一味が芋蔓のやうに檢擧されてゐるがヂャワズバンドの流行する樣ばべらを米國の社會に相應しい宗敎であらう

日本文壇の印象

六 溪生

ところで、正月號から出すさいふ「ゆうもりすと」が、例の謹慎やら何やらで御遠慮さつて二月になつて出た。その又「ゆうもりすと」は飽くまで敏郎式で、アメリカのベーカリーのパンフレットのやうなものが盛裝して五十餘頁の、フランスやスペインの國境に何さか言ふ野蠻人の國がある。その國人の禮帽が、これで、そのこれを、最近パリから歸つて來た友人が、生方し一番似合ふだらうさ言つて買つて來てくれたもの、そして日本にはたつた一つしかない珍らしい帽子で、恐らく世界の流行になるだらうさころの帽子ださ言ふわけだ。

◇

日本文壇の印象

【三】 六溪生

その女らしい喜んでゐる敏郎の風采は又ユーモリストそのものを茶人らしく冠つて分別りの——。黑絹沙の小擧止の運動帽のみのツバのないやうなものを茶人らしく冠つて帽は、フランスやスペインの國境に何さか言ふ野蠻人の國がある。その國人の禮帽が、これで、そのこれを、最近パリから歸つて來た友人が、生方し一番似合ふだらうさ言つて買つて來てくれたもの、そして日本にはたつた一つしかない珍らしい帽子で、恐らく世界の流行になるだらうさころの帽子ださ言ふわけだ。

◇

祖廟參拜 觀光團

一行來桑

本日のこれや丸で出發する羅府市の丸太小屋の一室に身を横たへ、地方の銀行に安全箱を置き都かに暮してゐたが彼の死後取り調べて見ると、その住者であつた彼の父は南北戰爭當時の勇者で、その子は、ウエストポイントの士官であり、軍人の士官であり、辯護士であり、タフト總督の下に比律賓で知事を勤めた光輝ある半生を有して、なつたさいふことが判つた時にそれは

打たれたのである

ミチソタ州の、セントポールに於ては軍隊は彼れに軍人さして團長の大野開敎使夫人並に監督の敬意を表した、彼れの新しい團長の山村字知太郎氏に引率されて來組劇團は、一行横濱上陸後は京都西本願寺に集合し帝大や佛敎大學の學者であり軍人である人の心敎授達の佛敎女化講演を聽くこと

日米要求

【日米郵便】

◎桑港廣告料金一行一日金十錢、四日目より一行一日金十錢、以後四日目より一行一日五仙の割

◎廣告料金は電話で、【Prospect 238】【Prospect 239】

人事欄

物件欄

尋人欄

日本郵便

△三月十九日着【同十七日沙港着横濱丸】

△三月十九日着【同十七日沙港着フラビヤ丸】

△三月廿一日着【同十九日沙港着横濱丸】

△三月十三日午後九時四十分【同十五日沙港發ジャクソン號】

△三月十五日午前九時十分【同十七日沙港發ルシヤ號】

△三月十七日午後九時四十分【同十九日沙港發ルシヤ號】

△三月十九日午後一時十分【タフト號】

△三月十九日着【同十七日沙港着】

△三月廿一日着【同十九日沙港着】

△三月廿一日着【同十九日沙港着】

△三月廿一日着【同十九

關東地方一帶に大吹雪襲來

電信電話悉く不通となる

關東震災以來の通信線大被害

本社東京特電　十四日午前一時着

十三日稀有の大吹雪東京を中心に關東地方一帶を襲ひ電信電話悉く不通となり關東震災以來の大被害を與へたが中央電信局の地方電話八十五ケ線は不通となり午後十時迄に漸く東京大阪間、東京横須賀間各一線づゝ復舊したのみ十四日は降雪休みしも三分の一の電話線復舊困難の見込み

中央電信局扱の二百九十八線中

昨夜十時迄に一四五線開通

市内電話一万三千餘口不通

斯かる大雪なので東京でも電柱倒壊到る所に續出し市内電話も一萬三千餘不通となつたが電話に對する被害は中央電信局取り扱ひ二百九十八ケ所線の中十四日午後十時迄に漸く百四十五ケ線だけ開通した、猶各地電信局は總動員でその復舊作業に努力してゐるけれども十三日は遂に一線も復舊しなかつた模様である。

廿三臺の除雪車

東京市内に出動

人夫三千三百名を繰り出し電車線の除雪に全力を盡す

南傳馬町で電車立往生

東京市内では廿三臺の除雪車が全線に亘りやとひ二千名、臨時やとひ千三百名を繰出して電車道の除雪を行つてゐるけれども電車は故障續出の有様であるが京橋區南傳馬町では一臺が脱線した爲立往生電車前後に亘つて七十五臺に達し大騒ぎを演出した。

洲崎行と淺草行

大手町で大衝突

兩者大破したが乘客は無事

洲崎行と淺草行の電車とは麹町區大手町にて衝突し兩車臺とも大破し復舊に五十班を要したが幸に乗客は無事

多摩川電車不通

兩國驛で六百尺

プラットホーム雪で横仆れ

京濱其の他各線も故障續出

多摩川電車も午後三時半から十時まで全線不通、京濱、京王、西武、蒲田の各線も停電故障續出し又列車も延着、兩國驛では六百尺のプラットホームが横倒れになつた

電力供給中斷し横濱全市は闇黑

市内電車は悉く不通となり活動寫眞や劇場も全部休業

東京市内の降雪は十三日午後八時過ぎ休みしも積雪五寸に達したが横濱では東京電燈の送電線電柱二十餘本仆れ、全市電力供給中斷し市電全線運轉不通、活動寫眞、劇場全部休業、午後七時まで全市闇黑となつた

大吹雪を避けて伊豫丸と鳥羽丸

十三日に横濱入港を遲らす

川崎で二電信工夫即死

十三日入港豫定の日本郵船シアトル航路伊豫丸と雜貨物船の鳥羽丸は吹雪を避けて入港を遲らした。尾川崎町では電線故障を直すため工夫感電し即死三名を出した

二十一ケ國の兒童達が仲良く同じ學校で机を並べ

新しくオファレル街に出來たラファエル・ウエール校にヘンリデュラントからりきつた生徒達

米國精神に基く教育を施すのだから先生達と骨が折れるわけ、今の所校長のベルタ・クロクス女史の下に二十二名の教員が働いてゐる、先づ何んなに百五十名の貨物も五千六百噸主として タバコ、鉛アスファルト、ルーフイング材料等で他は雜貨、學園等を交へて滿員の盛況一等客百〇七名二等七十九名三等三百〇七

〔十二〕秋の別れ　一

それの年の秋のことだ。

純一の生涯での大きな出來事があった。碩餌の秋を迎へて淋しく萎れてゆくやうに父は厳しい夏に弱りきつて、秋がその年の夏に弱りきつて、秋が來た時はもうたてなかつた。「秋が來たらおつとができるか知れない、そうしたら純一苦う。だが然し――やがてそれも云つた父の言葉は無駄となつた。二百十日が文字通り荒れて、水がが出て野も畑も水に浸されて堰切れ、秋の太陽に照されて鎮まりかけた日の朝、誰にも守られぬ此の世を忘れて逝つた父の葬式の賑やかな後、純一はまだ自分の家の包丁者になるのだと寂寞された。

聞いた時、純一は驚かされた。「出て、早く落りなさい、先生後ゆく、落りなさいかんよ」と言はれた。野口先生の稽古へ行つた時、始めて涙が流れた。秋の太陽が輝く往還を大聲でのキヲ――と泣きながら草履を手に持、裸足になつて走つた――。

つかぬ髪見だつた。しかし人間の死ぬなさいふものは、たとへ病んでゐたにしろ、斯うもダメヨに嘘作に來るものなのかんな一人で死んで逝つた父なは淋しかつたろ、キヲ自分を呼んだに相違ない、彼は布をつて父の死に顔を見た時、そう思つて濃紫と涙を父の蠟のやうの顔に流した、それを撫で取るんと――。

「毛に角、何だかお見せ。」

なぜはシキリに父が純一に遺した包を氣にしてゐた。

「別に大したモノぢやないと思ふのだけれども、何か大事な書きものでもあると子供が持つてゐても解るまいし」

「それもそうですわね」と野口の奥さんが云つた、純一はまだ包の中のものは知らなかつたが云つて、枕の下にあつた此れを出しやすうと、斯うお仰しやつた「純一にドウカ渡して」と、それからな、暫らく苦るしさうに咳入りされたが、それがすむとドウヤラ眠りなはつたらしく黙つてゐるなる、變ちやな思つてユリ起して見たが――あ――もう一度隣の老婆は泣いた。

隣の人達が寄集まつて見れた午後になつて野口先生が來た、少年の純一が只呆然として居る間に人々はサツさと見てを片づけて行つた、をばのさとへもそれでもやつて來て人前は手巾を眼にあてゐた。

純一には親切編の近隣の人々が寄つてたかつて自分を慰つてゆくやうな下底の寂寥を しみじみと感じて泣いた。

▲スピニチは続騰き過剰で市況弱し前日先づ三仙から四仙を呼びタラブは五仙だが下級は二仙クレーブ五十仙さいふ有様だ。

▲毫蕨からストリングビンズが少量到着したが、驚く見樂も先づオーライで斤七十五仙（早朝八五）を唱へてよく捌けた。

▲レタスは十二箱も入つて市場が多くなつて値下がり、バスケー七十五仙打、餘り賣れず▲タク七十五仙打、餘り賣れず▲ラブはお粗末なのが多くなつてポンチ十五仙から初まる。

▲ポテトは半丸に續いて蹴氣配の捌けは、五萬俵近い冷藏庫の捌は、種芋として出す向が多くなつて、ポテト作付けエカレーが増大の影響を受けて、計畫には相當の考慮なくてはならない。

▲けふストロの受荷は六十七クラブ、品質は一般に良好、ラブ、ラブ、ラブ、帝國の模樣、品は早朝五時を取り得たが、後は四仙五仙から四弗五十仙、下級はやつと落て三弗クラブ、帯純く少々殘荷を見た。

◆けふの入荷オレンジ二〇〇アフガル二、グレープフルーツ四、レモン四、セロリ八レタス一二、アニオン一、ポテト十六、スペイトポテトトメト五貨車。

農產海產物相場

三月十四日（月曜日）

果實類

▲アプル　ニュートン三半四
テアー一・〇〇―一・九〇
ローヤルユティ一・六〇―二・〇〇
二・七五　アーカンソーブラック二・二五―二・五〇
▲アボカードス　打小一・五〇
▲ブレーブフルーツ　三〇〇大四・〇〇―六・〇〇
グレープフルーツ　〔箱〕ラレ三・二五―三・七五帝原五〇〇―六・〇〇アリゾナ三・五〇―五・〇〇
▲レモン　〔箱〕四・〇〇―四・二五
レモネット一・二五―三・七五
▲オレンジ　ネーヴェル〔小中〕四・二五―四・五〇〔表大〕四・〇〇―四・五〇
▲ペアウイリアムス　〔箱〕二・〇〇―三・〇〇
▲オリーブライブ　〔斤〕四―六仙
▲ストロベリー　三〇〇―四〇〇
五〇〇

野菜類

▲アーティチョウク　〔クレツ〕三・五〇―六・〇〇大型七・〇〇―九・〇〇〔ラグ〕二〇〇―三・〇〇
▲アスパラガス　〔斤〕二五―二〇〇
▲キ、ベチ　一仙一仙分ノ三仙
▲キ、ロウ　〔袋〕七五―二〇〇
三五―五〇
▲ニンニク　〔サック〕七五―一〇〇　二五―一　七五〔束〕二五―五〇
▲カリフラワー　〔箱〕三五―七五
▲セロリー　〔クレーク〕ローム曹一七五―二・七五南加四〇〇―五〇〇
▲胡瓜　ハットハウス〔ラグ〕四五〇―五・五〇
▲レタス　ローラル五〇―一・二〇〔壺〕二〇―一・〇〇〔斤〕五―七仙
▲スプラウツ　〔斤〕二―三仙

▲カリフ、ラワー　〔箱〕七五―一〇〇
▲アニオン　グリン葱五〇―一二五ブラウン三・五〇―四・〇〇
▲スピニチ　〔斤〕二〇〇―三〇〇
央ヤロー二〇〇―三〇〇
▲トメト　〔ラグ〕一二五―一・二〇
二五―一・二五―二〇〇
▲ピース　南加五―六―一〇
▲ポテト　メキシコ八―十
ヂョアビング河二〇〇―二・四〇〇冷藏三・二五―三・五〇
▲ポテト　〔斤〕二五
アイダホ一・二五〇
▲ポテト　〔斤〕二〇
ナンシーホール〔ブクシエル〕一五〇―二・二五
▲ポンキン　〔斤〕一仙半―一仙
七厘五毛〔ラグ〕七〇―一・〇〇
▲ルバブ　〔斤〕一・二五―二〇〇

桑港市場

三月十四日　月曜日（晴）

農業欄

▲けふアスパラの入荷は總數六百十四箱、隨つてブライスもトム十五仙から廿仙に下商はれたが、需要相當に元氣があつて停滯ぎみでは行かなかつたが、これも大形物がよく捌けてタップ九弗を唱へた、小中は例に依り可成殘荷がある。

▲チョークの出はけふ大分多かつたが、需要はやはり元氣がなかつたが、これも大形物がよく捌けてタップ九弗を唱へた、小中は例に依り可成殘荷がある。

▲ブロコリは需要は

南加通信欄

【三月十二日】

サンデーゴの沖で同胞汽船衝突

海軍ボートに救はれた米人船員の談話から目下各方面捜索中

十一日午前八時頃サンデーゴ沖合なほ十浬の沖で海軍ロナ島の南方四十浬の沖で海軍海産會社からは直に捜索船を出れ乍ら浮びつゝある二人の男を發見し直に救助し サンデーゴ港に直航し入港せしめ手當をなしたる由であるが此の四名の白人は近藤氏の太洋海産會社のエム、ケー號に中川と海上に於て衝突し此の四名が乘つてたボートが沈没した爲めの五名であると

ボートが同地遭遇中浪にゆられ他に二個の死體を發見し救突したさ云ふのが夜中の事で院せしめ乗組員の生死さへ判明せるが此の四名の白人は近藤氏の太洋海産會社のエム、ケー號に乗つてたボートが遭難船の乗組員に中川山田一緒方、小久、オールソンの出帆を希望すると

ガーデナ平原便り

西ホーソン學園設立

モチダ學園十五週年紀念會

人事往來の數々

ガーデナ方面の同胞は最近異狀の發展をなし日曜會を中心として社會事業方面にも組織的に活動し中でも殊に第二世の教養に關しては父兄共に注意を拂ひ居りは西ホーソン學園を設立し十二月後一時より舊農會ホールに於て發會式を擧行し大野開敎使並びに同地日曜會遠藤幹事出席したが同學園の經營幹部は左の如しと

▲理事長　白井三太郎▲學園總取締　作田新五郎▲會計　山根源右、溝野東一▲監査役　山下清吉、津秋藤吉

×

モチダ學園は創立十五年に達するので來る廿六日午後二時から同地學園内で紀念の祝賀會を催し席上で修業式を擧行する事になつたから父兄は勿論一般同胞の出席を希望すると

▲開店　兒玉洋服店（ウエスト街）は來る十五日頃開店の運びになると

▲代替り　福永氏經營の豆腐店は今回佐古田氏が經營すると

青年同盟の活動

自由講座を開き一層發展せしむと

十八日會議

南加青年會同盟では十日夜羅府日曜會を會議室にて幹部會を開催し中央日曜會、羅府日曜會、商業會議所、各日刊新聞社代表者の出席を乞ひ協議會を開く由

×

▲歸國　前原精氏一家は去る九日ラブラタ丸で歸國、なほドミングスヒルの雨宮氏も同樣

▲歸國　ウエスタンの竹本貫二氏一家はコレア丸で歸國す

▲寄附　金五弗、日本人會へ雨宮氏より、金三十弗モチダ敎會へ前島氏、金二十弗日人敎師へ前島氏

▲御目出度　井芹商店には去日母子分娩メイ子と命名

日本近信

久米博士著『奈良朝史』の閲讀を禁止

全國各學校、圖書館に對し突然文部省から通牒

（關屋文部省普通學務局長談）大正四年に發行された古い本ではあり皇室に關して不敬にわたるさいふことも解釋の仕樣でさうかと思ひますが國史研究家だけに見せるさいふことも不可能なので圖書館學校等において閲讀禁止さいふと

困つた問題

内務省曰く

（川崎内務省圖書課長談）これは昨年の春頃からの問題で茂呂氏が指摘する點は久米博士は論々羽振がいゝ。大阪、京都の火消が、論々いはれ、京都の人一般が非常に喜ばれたこの事が將軍家のお耳に達したので辰五郎はお目通りを仰つかつたこれは實に破格の事であるが、その時に新門丹波守さいふ名前を賜り、旗本格のお扱ひを受けたさいふ事である。

その内に將軍家茂公大阪へ移りになるについて、新門も加へこへ江戸から一ツ橋中納言慶喜氏が出になつたから、辰五郎公がお出になつたさいふ武士は論々羽振がいゝ。大阪、京都の火消一業の元締が周旋をした關係から重なる元締の相撲屋政五郎、城中屋新藏、高野屋伊助、巴屋次郎兵衛、津の國屋善兵衛、これが歩兵取締に任命された。

西丸下、大手前、小川町、三番町の四ケ所に歩兵屋敷が出來て、總奉行は松前伊豆守で、總て西洋の兵法を用ゐる事になつて、今までは一鼓六足さいつて、今度はオランダ式の足づゝ前へ進むさいふ武者押で行軍さいふので、笛と太鼓でオ

京都大震災義捐金

募集に關し協議

十四日領事館で

困つた問題

（川崎内務省圖書課長談）これは昨年の春頃からの問題で茂呂氏が指摘する點は久米博士は論々羽振がいゝ。大阪、京都の火消一業の元締が周旋をした關係から重なる元締の相撲屋政五郎、城中屋新藏、高野屋伊助、巴屋次郎兵衛、津の國屋善兵衛、これが歩兵取締に任命された。

西丸下、大手前、小川町、三番町の四ケ所に歩兵屋敷が出來て、總奉行は松前伊豆守で、總て西洋の兵法を用ゐる事になつて、今までは一鼓六足さいつて、今度はオランダ式の足づゝ前へ進むさいふ武者押で行軍さいふので、笛と太鼓でオ

ドンさいふ調子で進む。旗本の中から關口に白石さいふ二人が選定されて、肥前長崎まで樂隊のけいこにいつた。何故この二人が選ばれたかさいふと、馬鹿はやしの名人だつた。馬鹿はやしが巧いから西洋の樂隊も早く覚えられるだらうさいふ重役の考へだつたさうだ。

服裝も後にはオランダ式からフランス式に變り、又イギリス式に改めたが、最初ははかま襟ばかりを穿いてつい袖を着せたものだ。町人が感心して茶菓をいつたが。これは適評だつた。元々さういふ無頼の徒だから、無錢飲食や押借ゆすり、悪い事ばかりして歩くので、市中取締の巡邏さいふものが出來て、その頭を酒井左衛門尉が、承つ

これは又意外な三菱王國の花嫁【一】

岩崎男爵家の御曹司彦彌太氏に選ばれた佐竹男令妹操子さん

路地の奥に佗住ひ

薄暗い軒燈

潮く探し當てた

岩崎男爵家の御曹司彦彌太氏（この嫁御寮がきまつたやがては日本の金權王國の女王となるべき日本中の女さいふ女の羨望の的であるべき新嫁御寮こそはそれこそ日本一の果報者であるさいふは先づ何人も知らうとするこころであらうが併し何人さいへども今の想像は恐らく何々公爵家の令嬢さん」「でも男爵だから相當な家柄の令嬢さん」「でも男爵だから相當な家柄の令嬢さん」「華族ならこの奥に松平さんさいふ華族さんがありますが……」

記者は一昨夜この果報者をたづぬべく芝區三田の三四を訪ぬ佐竹の標札を探したがなか〳〵見當らぬ、同じ番地の酒屋で尋ねても「さういふお宅は知りません」と數人がその娘さんをわかつたら天上の女まづ呆然として開いた口塞がらないであらうこの果報者を大勢運で行つて働いたのそれこそ故佐竹義準男三女操子さんである

されてゐる筈所なのであるこれは非常に困つた問題でそれを徹底的にいふと日本の古代史をなす古文書さいふものは讃めもせや研究も出來ないとになつてしまふさは限られる、結局出版者と著者との合意で二版からは訂正版を發行する事になつて解決したがだ四年度發行の一版について文部省から公の感にあたる認書の閲讀禁止を通牒して貰つたのです、この樣なことは特に不敬の意志を以て書いたのなら格別、國史研究家の權威者が編面目の動機から出版したがやはり巧いから西洋の樂隊も早く覚えられるだらうさいふ重役の考へだつたさうだ。

（をはり）

講談豫告

島原美少年錄

木村毅作

近日連載

愛用の虎徹、鞘を拂へば必ず血をなめさせたいふ快傑近藤勇を首領とした新選組、鄙の動王派に對抗して島原に根を張つたその新選組の浪士の中に、花も恥らふ美少年の身をもつて豪勇無比、神變不思議の法を操る不敵な魂の持主、異名を今出若之輔へ物語です。時は幕末、所は京都さいた戀の花は紅の焔をくゞ不吉なまんじゆ、さけ—木村毅氏のこの新作は、その新味、その魅力、たしかにゆき詰まつた新講談界に處女地を拓いたものであることを疑ひません。

幕末俠客傳

神田伯山演

一五二　歩兵騒動

會津の小鐵が、自分の身の上を包まず話したから、新門辰五郎も、同じく身の上話をして、いよ〳〵二人は美しく交際をしてゐた。辰五郎が京都に足を留てゐる内に、鄙國の大火があつた。既に鄙國の所まで延燒しようとした時に辰五郎が金銀の賭博打、仲間、折助、飢餓なる者を大勢運で行つて働いたのが辛うして鎮火をまぬがれた。鄙國の神主、町奉行京都の火消一業の元締が周旋をした關係から重なる元締の相撲屋政五郎、城中屋新藏、高野屋伊助、巴屋次郎兵衛、津の國屋善兵衛、これが歩兵取締に任命された。

その時に新門丹波守さいふ名前を賜り、旗本格のお扱ひを受けたさいふ事である。

その内に將軍家茂公大阪へ移りになるについて、新門も加へこへ江戸から一ツ橋中納言慶喜氏が出になつたから、辰五郎公がお出になつたさいふ武士は論々羽振がいゝ。大阪、京都の火消一業の元締が周旋をした關係から重なる元締の相撲屋政五郎、城中屋新藏、高野屋伊助、巴屋次郎兵衛、津の國屋善兵衛、これが歩兵取締に任命された。

西丸下、大手前、小川町、三番町の四ケ所に歩兵屋敷が出來て、總奉行は松前伊豆守で、總て西洋の兵法を用ゐる事になつて、今までは一鼓六足さいつて、今度はオランダ式の足づゝ前へ進むさいふ武者押で行軍さいふので、笛と太鼓でオ

五郎を自分の家へ迎へて、朝夕世話をした。

元治元年八月、十四代將軍家茂公大阪において歩兵屋敷を出來て、總奉行は松前伊豆守で、總て西洋の兵法を用ゐる事になつて、今までは一鼓六足さいつて、今度はオランダ式の足づゝ前へ進むさいふ武者押で行軍さいふので、笛と太鼓でオ

同年九月一橋慶喜公が十五代の將軍に任ぜられた。慶喜が將軍になると、テキパキと諸般の改革を行つたが、今まで旗本の中に纖弱組さいふ物のあつたのを廢止し、歩兵隊を設けた。今まで

ろへ、巡邏が乘込んで來て、制したけれどもいゝれないさいふので、やり玉にあげて終つたそれから巡邏と歩兵の二層仲が悪くなつた。

西川由喜男

住所知たし

日米新聞社營業部

た。この方は旗本のうちから募集したのに學力もあつたし、腕前が勝れてゐるから、歩兵も恐れてゐたが、ある時三丁目の芝居で、歩兵が暴れてゐるところへ、巡邏が乘込んで來て、制

日米新聞
羅府支社移轉廣告
從來羅府日米新聞社内にて通信及び營業事務を取扱ひ居り候處今回左記に移轉し三月一日より新に事務開始仕候間記事廣告其他一般事務に關しては左記へ御申越相成度
昭和二年三月一日
羅府北サンピドロ街一一七
事務所　羅府東一街三六七番
電話　TU 六二八九　VA 五三七九

ユニオン事務所
ミカド・ホテル
アメリカン・エキスプレス
大阪郵船
ダラー汽船
切符代理店
日本行貨物一手取扱所
出入國手續、子供旅券下附
事務所　羅府東一街三六七番
電話　TU 六二八九　VA 五三七九

日米新聞羅府支社
電話ミュチュアル八四一五
117 N. San Pedro St. L. A. Calif.

MARTIN & BROWN
FUNERALS
1515 Scott St., S. F.
Phone West 10
日本人の一唯一の葬儀社
ユニオン・ビューティー・シャラリー・ドンドコ

太平洋印刷所
羅府東一街二三三
電話タッカー六〇六〇

御料理花月
ロスアンゼルス市
化サンピドロ街一番二

オキシペラー
ラジエーター
ガス
燃焼
電熱
療法
家具金物類一切
Fur & Hdw. Co.
Los Angeles
Fukuyama
307 E. First St.
羅府東一街三四二
電話ＶＡ六六〇二
福山敬吉

ロスアンゼルス市
御料理花月
化サンピドロ街一番二

羅府東一街三四二
電話ＴＵ二二〇八
何でもある店
勧工場

羅府東一街三四七
電話ＴＵ二六一八
日本郵船
大阪商船
ダラ汽船
切符代理店
太陽堂
248 E. 1st St., Los Angeles
Tel. TU 0196
風早勝一

東一街三四二半
電話ＶＡ九七一一
藤井法律事務所

羅府東一街三六七
電話ＴＵ二六一八
日本郵船
大阪商船
ダラ汽船
切符代理店
第一街グラージ

北サンピドロ街一一七
電話ＭＵ八四一五
羅府支社

羅府自轉車商會

ロスアンゼルス欄

大正天皇御一代畫報
及御大葬儀寫眞

大正天皇は明治天皇の聖德大業を御紹述あらせられ在位十餘年間國運の一大躍進を遂げさせられました其の御偉業を萬世に傳へ奉るためと去月七八兩日に於て行はせられた歴史的御大葬儀を後世に傳へ奉るため日本電報通信社で謹製致しました『大正天皇御一代畫報』が最近入港のタフト號で本社に届きました、故國では非常な好評で既に卅萬部賣盡したと云ひます、本社では實費五十仙を以て希望者に配布致します、部數に限りあれば至急御申込を願ひます

實價一部五十仙
送料本社負擔

……【寫眞大製】……
▲大正天皇御幼少より最近に至る御尊影二十數葉
▲皇太后陛下御尊影
▲新帝皇后兩陛下御尊影
▲直宮各殿下たる寫眞
▲各内親王殿下たる寫眞
▲大正天皇御不例より崩御あらせられまでの各寫眞
▲大正天皇御事蹟寫眞
▲大正天皇御宸筆
▲大正天皇御大喪儀寫眞
▲御大喪儀御調度品
▲御陵墓【多摩陵墓地】
▲葉山御用邸全景
▲二位局外宮内省女官大官寫眞
▲重臣侍醫外側近奉仕者寫眞
▲御大喪儀關係大官寫眞其他
▲御大喪儀當日の寫眞全部
……【記事大製】……
▲大正天皇御事蹟及御逸事其他

桑港の方は便宜上
大成堂　1601 GEARY ST., SAN FRANCISCO, CALIF.
五車堂　1698 POST ST., SAN FRANCISCO, CALIF.
へ御申込を願ひます、勿論本社へ御申込の方へは直接本社から發送致します。
▲地方の方は各支社へ御申込み下さい。
▲郵券又は貨幣御封入下さつて差支へありません

桑港　日米新聞社
650 Ellis St., San Francisco, Calif.

フレスノ

セルマ地方青年會の優勝祝賀會

角力大會で獲得した旗と杯を壇に飾つて

（十三日）

本夕セルマ、ホールに同地方青年會の角力大會に優勝した競賽會が開かれた。壇上には大優勝旗、銀盃が飾られ、奥田、上松、大鶴、優勝三選手がその前に並び座を占めてゐた。開會は午後の古梅高一君の開會の辭に次ぎ祝辭ビサカ倶樂部代表、湯ゆき長セルマ婦人代表、菊原有江峰吉郎、布市婦代表、菊原美、日米鶴野秋治、熊澤吾中助タイムス川島伊吉、本田鶴吉氏より祝辭、セルマ地方青年會代表、福田直記念撮影後、祝宴に移られた食事を終ふ主客自紹名代盤の裡に交歓角力話句および懇親の會員一同のエール三唱、新郎の挨拶、新婦にて第二式に入り杯盤の間に先輩諸氏も若がへつて或は歌舞を演じ百盤百出盛宴を極めたが新郎新婦は一同に祝福されつゝ同夜南方面に密月旅行に上つたよし

のプログラムにて第一式を終り青年會代表藤原勝夫有志小田貞彦、隅田憲一、蓮花貫一、河野德一、白川時夫、森長作氏、祝辭松村清夫君の愛撫で青年會員一同のエール三唱、新郎の挨拶、新婦にて第二式に入り杯盤の間に先輩諸氏も若がへつて或は歌舞を演じ百盤百出盛宴を極めたが新郎新婦は一同に祝福されつゝ同夜南方面に密月旅行に上つたよし

▲花嫁披露宴＝森重ゼームス君と大仲靜枝嬢の結婚披露宴は後ホールに盛大に催され媒酌人本田鶴吉氏より花嫁花婿を紹介し美、日米鶴野秋治、福田直記念撮影後祝宴に移られた。

▲ピクニック＝セルマ地方青年會代表、福田直記念撮影後祝宴に移られた。

▲ピクニック＝セルマ地方青年會代表、福田直記念撮影後祝宴に移られた。

▲ピクニック＝セルマ地方青年會代表、福田直記念撮影後祝宴に移られた。

●寄贈＝フレスノ書店より三月號「太調」一册當支社へ

オークランド

王府の籠球試合

來る十九日（第三土曜）夜市パイレット倶樂部主催で王府見女協會戰を午後九時半より王府ハイスクール運動室において籠球復活の試合が行はれ第二軍と第二軍との試合が行はれ第二軍と第二軍との試合が行はれ第二軍と第二軍との

サクラメント（十四日）

花も時雨れし其日 九州人先亡追弔會

二十周年紀念事業として同胞發展基礎を語る縮圖

花纏颪の春一日を時雨に明けて時雨に暮た昨十三日の日曜を懺ヤンに祝福し各（自立のクラブ府九州人会二十周年記念事業として先亡者の慰霊追弔會並びに佛法講演會の催されたのは好機念を受取れた午後一時同會幹部及び會員有志はベルベレヤの墓場で第十街の墓場を選め佐々木北米開教總長始め五名の會員出張して厳かに讃經供養し午後二時半から機府佛教會堂で先亡追弔を厳粛に執まれ參詣者多かつた西村萬蔵氏司會し九州人會津田伊之吉、熊本縣人井芹政三、福岡縣力丸吉、鹿児島縣岩切、長崎及び佐賀縣唐津地貞彦、有志小林午三、宮崎縣弗の金次、大分縣和才政治、宮崎縣竹田雪城、機府日本人會佐藤力太郎、佛教會西村雲次郎諸氏の焼香就は追弔の辭あり最後に佐々木開教總長の懇なる法話あつて參詣者順次に焼香し紀念撮影を終式した當日司會者の發表した機府佛教會で葬つた九州人先亡の町法三十三年以降の死亡者は六百二十七名で死然同胞養成史の編纂によると▲死亡者六百二十七名（廿八年間）▲男四百〇一名、女二百二十六名▲大人三百七十六名、小供二百五十一▲一歳の死亡者男七二、女五二▲二歳の死亡者男七二、女六一六▲三歳の死亡者男一五、女一一

即ち知る二三歳まで嬰兒の死亡率は最も多いことは開拓時代の困難なる社會相を語るもので此傾向は未だ現下の同胞社會に顯著で識者の考慮を要するものである三歳から四十歳の死亡率も可なりおほく▲出歳男五三、女二九▲四十歳男五一、女一一

此の死亡率は明治四十年前後において著しいのは當時同胞創業時代の悲壮苦闘を物語つて餘りあるもので此の冷やかなる数字は北米における一般同胞社會的考察を促してくれる年表六時代年代の年表を編纂の上で佐々木開教總長の厳重なる社會相を語るもので天候恢復後は却て平年作以上に増大するものと想想されてゐる

レストラクの修業式と野遊會

指を折つて待つた朝の空は雲行を怪しまれて散會、尚當夜荒川夫人が寄贈の柴田夫人よりソーダ水の寄贈あつたりと

●外套を盗まる　市内第三街廣瀬主人廣瀬清蔵氏は去る十日夜機府佛教會に何者かに外套を失敗された外套は機にピローケットつきの會合の集を狙ふ外人風賊多し何れも御用心

●學校生徒拘引さる　機府初級パイの生徒二名は昨十二日の夜デビット、ルビン學校における キッド、パーテーで自動車中に葡萄酒を藏したるを探偵の發見するところとなり拘引された 千弗のボンドで放釋された 踏まえこれに繼はる悪習並びに犯罪の實例がまた現れた

●日本基督教會總會　市内ユムイ公會第三街日本基督教會では來る十六日に悲觀論一はパニックが來るにし悲觀論一はパニックが來るであらうとまで嘆想したが新年以來の降り續く降雨の爲に薄附過ぎ有する確實なる青年會さ

●藤森嬢の婚　十三日午後同嬢の他の結婚式は盛大に挙行され 男女を同伴湯木勝一氏及び新郎 世界繁榮の礎に觀光のため白地千代子嬢等である

●時雨　天氣になると思へば降り續いて全く百姓泣かせの珍し き年だといつてゐる、昨今の雨 年年の平均數よりいい時はそ んなに大量ではない穏雨量は昨 日まで二十時二分六厘である、 昨朝來の雨は四分二厘

雨を衝いて少年軍遠征

山峡にキャンピング

當市第十四少隊の同胞ボーイスカウト軍は昨十三日の日曜にフオッサムの奥なるボーイスカウト軍所屬のサモン、キャンプに遠征を試みたが花には慣み多かり雨を衝いて待つた朝の空は雲行を怪しまれて散會、尚當夜荒川夫人が寄贈の柴田夫人よりソーダ水の寄贈あつたりと

アスパラの初貨車

河下から鐵道輸送

アスパラガスの本年度初貨車は 河下から鐵道輸送された其 の本年度初貨車は 昨年より 一弗から一弗五十仙（ハ ンド）若しこの相場四五日續く 人會津田伊之吉、熊本縣人井 芹政三、福岡縣力丸吉、鹿児 島縣岩切、長崎及び佐賀縣唐 津地貞彦、有志小林午三、宮崎 縣竹田雪城、機府日本人會佐藤 力太郎、佛教會西村雲次郎諸氏 の焼香就は追弔の辭あり最後 に佐々木開教總長の懇なる法 話あつて參詣者順次に焼香し紀 念撮影を終式した當日司會者の 發表した機府佛教會で葬つた九 州人先亡の町法三十三年以降の 數は六百二十七名で死然同胞養 成史の編纂によると▲死亡者六百二十七名（廿八年 間）▲男四百〇一名、女二百二十六名▲大人三百七十六名、小供二百五十一▲一歳の死亡者男七二、女五二▲二歳の死亡者男七二、女六一六▲三歳の死亡者男一五、女一一

即ち知る二三歳まで嬰兒の死亡率は最も多いことは開拓時代の困難なる社會相を語るもので此傾向は未だ現下の同胞社會に顯著で識者の考慮を要するものである三歳から四十歳の死亡率も可なりおほく▲出歳男五三、女二九▲四十歳男五一、女一一

此の死亡率は明治四十年前後において著しいのは當時同胞創業時代の悲壮苦闘を物語つて餘りあるもので此の冷やかなる数字は北米における一般同胞社會的考察を促してくれる年表六時代年代の年表を編纂の上で佐々木開教總長の厳重なる社會相を語るもので天候恢復後は却て平年作以上に増大するものと想想されてゐる

夏に劣らない遊覽地 雪のヨセミテ公園

四萬二千人と一萬二千臺

米國西海岸の名勝ヨセミテ公園興じ一同無事四時ごろ散會した

▲昨年までの冬のヨセミテは殆ど遊覽客をひきつけてゐる 遊覽客と謂ふものは見へなかつたのであるが今年はヨセミテ ホテル完成によると道路の危險 も除去されたことに依り動員す る珍客が急速に増大し昨年十月 から二月まで一萬二千臺の自 動車と四萬二千人の 客を接待してゐる、 客を接待してゐる、 ▲冬の遊覽地として 少しでも浩然の氣を養つて來 ることは夏の喧騒な旅行時に比 して効果があるであらうと

アスパラ出荷

平年より大略三週間後れたるア スパラガスは來る月曜日一荷車 分を出荷する筈である本年の 後れは降雨による土地の冷却と 仕事の都合によるもの天候恢 復後は却て平年作以上に増大す

降霜の危險

準備を要す

天候恢復なる不順なるため本年は特に霜害を防ぎ防霜の必要ありさな り市當局は防霜課では近日中大宣傳を 開始する筈であるが防霜法當局の 報告は K、G、U、に依り極 日は夕方七時三十分に一般に報 ず る筈であるから設備を急ぐべ しさ

●藤井氏退院　牛エルドラド藤井玉場の藤井氏は久しく入院 中の處ご快一昨日退院し目 下專ら靜養中である

●須市籠球部勝つ　十一日午後 須市籠球部は本年はYMCA内に籠球團は迎 撃よく戰ひ二十八對十七で須軍 の全勝に歸した

●藤森嬢の婚式會　近く結婚の 藤森清蔵氏の姉嬢須市佛教會 主催の送別晩餐會が同會堂 より寄附されて山と積んで子供 の全部に配つた

●藤井氏退院　牛エルドラド藤井 氏は久しく入院 中の處ご快一昨日退院し目 下專ら靜養中である

●須市籠球部勝つ　十一日午後 須市籠球部は本年はYMCA内に籠球團は迎 撃よく戰ひ二十八對十七で須軍 の全勝に歸した

●藤森嬢の婚式會　近く結婚の 藤森清蔵氏の姉嬢須市佛教會 主催の送別晩餐會が同會堂 より寄附されて山と積んで子供 の全部に配つた

親交會例會

親交會の例會が昨夜遠林樓に 於て催された常幹事さんは丹 田、牧井、大庭の三氏で丹田氏 は今回の例會に於ては近く歸 國する歯科醫の伊藤茂承氏とサウ サル街の名物男湯木勝一君及び ベーカスフィルド方面に轉住す る古賀謙藏氏の送別を兼ねる の挨拶があり食事に入り伊藤、 古賀氏の答辞があり更にかたく なる話しきりなく和氣あい〜裡に 散會したが次回の幹事は北、 森、鳥川の三氏を推薦した

●送別祈禱會　日本人長老教會 は昨一昨晩教會堂に於 いて今回歸國する鶴谷宋二人及 び伊藤茂承氏の送別祈禱會を催 す出席者三十名欧北氏司會し讃 歌及び祈禱送別の辞等あり散會 茶菓の饗應あり十一時散會

●送別の辞　日本人長老教會 は昨一昨晩教會堂に於 いて今回歸國する鶴谷宋二人及 び伊藤茂承氏の送別祈禱會を催 す出席者三十名欧北氏司會し讃 歌及び祈禱送別の辞等あり散會 茶菓の饗應あり十一時散會

●二十五弗　クムバーデンラ フリン・フルーツ・グロ アス・アソシエーションは千 九百廿六年十二月十五日附を以 て當アソシエーションよりテ 前野に支拂ふ可き金三百七十四 弗九十九仙の額面小切手を受取人 に送附せたるも處有小切手は受取人 に不着の故を以て調査せなる者が 受取人の名を署し引出し得べき 銀行に之れを提供し右金額を受 取り居るしとを發見したり、當 アソシエーションの知る處によ ればケー石川はエフ・イー・ダブ ルー日本人會の幹事にして其 の姓名名名乗る者は機府郡に只 一人あるのみ、此の忌はしき紛 糾に關しフロリン地の忌はしき紛 糾に關しフロリン地の忌はしき紛 糾に關しフロリン地

The Japanese American News
THE LARGEST JAPANESE NEWSPAPER PUBLISHED OUTSIDE OF JAPAN
K. ABIKO, PUBLISHER AND EDITOR
650 ELLIS STREET
SAN FRANCISCO, CALIFORNIA
ENTERED AT S. F. POST OFFICE AS SECOND CLASS MATTER
SUBSCRIPTION RATES IN ADVANCE
ONE YEAR $11.00
SIX MONTHS $5.50
ONE MONTH $1.00
SINGLE COPY ..... 5 CENTS

EDITORIAL

Dr. Smith Defended

One of the Fresno dailies, in commenting editorially upon Dr. Frank Herron Smith's address delivered in that city last week, makes some ill-directed attacks that do naught but bungle the issue. After making sardonic remarks, evidently aimed at Dr. Smith, the article declares that:

"The laws of California are not violative of Christian principles. There is nothing in the fundamentals of Christianity that requires the United States to permit the flooding of the Pacific coast with Japan's population."

A perusal of Dr. Smith's address published the next day reveals nothing to indicate that he advocated any such policy as "flooding the Pacific coast with Japan's population." What he deplored was the ungentlemanly conduct of the Congress in passing the Exclusion Act against the wishes of the President and the State Department and thus automatically abrogating the long-standing Gentleman's Agreement.

That Japan does not desire to "dump" her surplus population into California, no sane critic would question. She merely protested against the implied affront of the Exclusion Act when the purpose for which the act was designed could have been accomplished by applying the general quota restricaion to Japanese immigration, which would admit only one hundred Japanese as immigrants.

The implied thrust against Dr. Smith was not only needless but illogical.

BLACK LEAGUE OF TOKYO PROTESTS EXECUTION OF SACCO AND VANZETTI

Japanese Anarchists Present Protest at American Embassy

Special to the Japanese American News

Tokyo, March 14—A committee from the so-called Black League filed a protest at the American Embassy against the execution of Sacco and Vanzetti, now under death sentence in Massachusetts for anarchistic activity. The delegation arrived Sunday when only a Japanese clerk was present at the Embassy, and the members of the committe declared they would return to see Ambassador MacVeagh. The Embassy is now being closely guarded.

San Jose Girls' Club To Sponsor Picnic March 26

The San Jose Girls' Club held its regular meeting on March 13.

After routine business, plans were made for a picnic on March 26. Young peoples' organizations will be invited, and with Santa Clara Valley at its famous "Blossom time," a happy day in open fields is promised by the committee in charge.

Oakland S. and D. Club Sponsors Dance Party

Many Young Peoples' Organizations Are Represented At Dance

The Oakland Sons and Daughters Club held a most successful dance party last Saturday evening at their Seventh Street club house.

Many young people's organizations of the Bay region were represented, including several from San Francisco. The Wesley Heidt's Dance Orchestra rendered the popular and the latest syncopation.

LARGE CROWD ATTEND DANCE:

There were approximately 25 couples on the floor when the orchestra played the last dance (tag dance) music. The party disbanded at 11:30.

Isleton Couple To Wed Tuesday, Surprise Friends

The many friends of Miss Flora Kimiyo Nakano in Sacramento were surprised to receive the announcement of her coming marriage to Mr. Shigeru Ishimoto. The two are residents of Isleton, California, but Miss Nakano is a former Sacramentan and is well known in this city.

TO WED AT ISLETON HALL:

The wedding ceremony will take place on Tuesday, March 15, at 1:00 p. m., at the Isleton Hall. The baishyakunins are Messrs. K. Kataoka and Y. Hashimoto.

FRESNO STUDENT CLUB INSTALLS NEW OFFICERS HOLDS LIVELY DEBATE

Many Members To Try Out For Oratorical Contest

Installation of officers, naming the committee to arrange for the preliminary of the coming oratorical contest, and a debate were some of the things decided at the last meeting of the Fresno Japanese Student Club Friday night, March 11.

Those chosen for the committee for the contest are Pauline Masuda, chairman; Jeannette Kawai and Ryo Iino. Almost everybody in the Student Club is planning to try out for the contest, and they believe that even if they don't get first place, it would be an excellent practice to improve public speaking.

"Man Is Superior to Woman," was the topic of the debate in which Setsuko Saiki upheld the negative and Kikuo Taira, the affirmative. It was voted by the judges, Ryo Iino, Jeannette Kawai and Johnson Kebo that "Man Is Superior to Woman." (There's plenty who doubt it though!)

PROMINENT MEN ARE PRESENT:

Until eleven o'clock the young people played and enjoyed many games, after which they disbanded.

Others who were present at this banquet were:

Lowell C. Pratt, editor of Selma Enterprise; Harry Staley, contable; W. J. Johnson and A. J. Little, Legion men; L. J. Price, prominent busines men. The Japanese were Mr. Y. Hashimura, S. Noda, M. Arie, and Misses Y. Hashimura, S. Asada, C. Yoshino, and T. Shimizu. The Fresno Japanese who also attended this affair were A. Araki, I. Kawashima, Rev. Mr. I. Kyogoku and K. Kameno, editor of the Fresno Branch of the Japanese American News.

GIRLS WEAR JAPANESE DRESS:

At eight o'clock the group went to the Japanese Hall, with the Americans as the guests. A curtain was drawn across the stage. As the American anthem was sung by the Visahka girls, this curtain slowly opened and revealed an almost actual reproduction of the float scene of the parade. A "mon," or a gateway, profusely decorated with cherry blossoms stood in the center. Beside and around it, the girls, dressed in Japanese costumes, formed a semi-circle and sang "America."

Following this, congratulatory speeches were given by several Japanese. A Japanese motion picture concluded the celebration.

Berkeley Friendship Club Holds Meeting, Sunday

Miss Furuta of Oakland M.E. Features With Song

On Sunday afternoon, March 13, from 5:30 to 6:30 p. m., the Japanese American Friendship Club of Berkeley held a combined meeting with the Presbyterian Young People's Club.

Miss Sumile Morishita was in charge of the meeting and introduced as the feature of the program Miss Yuki Furuta of the Oakland M. E. Church who rendered a vocal solo.

BERKELEY FELLOWSHIP HEARS INTERESTING TALK BY MR. E. GALT

Speaker Suggests Remedies For The "Racial Problem"

On Sunday evening, March 13, at the Dwight Way Christian Church, the Berkeley Fellowship heard a talk on the "Racial Problem" by Mr. Elmer Galt, who had gone to China in 1910, and returned recently for a year's furlough to Berkeley where he is attending the Pacific School of Religion.

Mr. Galt traced the various causes of racial prejudice, such as, economic, political and moral relations between two different civilizations like Japan and America.

He then showed the effects of race prejudices on these two nations, and suggested some remedies such as education and understanding which would uproot the bases of the racial problem.

As there was some time left after he finished his talk, the Fellowship members asked him many questions on the existing conditions in China.

Before disbanding at 9:30, Norman Kobayashi, who had conducted the meeting, thanked Mr. Galt in behalf of the Berkeley Fellowship.

S. F. Newspaper Writer Leaves for Japan Today

Mr. K. Tomita, member of the editorial staff of the Japanese American News, will sail for Japan today on the N. Y. K. liner Korea Maru. The members of the English staff wish him "bon voyage."

3 Fresno Japanese Boys Win Honors in Bicycle Meet

Isei Kawai Achieves Field Meet Prize in Plank Race

At a bicycle field meet held in Fresno at the Holmes playground on Saturday afternoon, March 12, Isei Kawai, 14-year-old youngster, won first prize as the winner of a plank ride. He received a yellow gold wrist watch.

J. Howard Rhodda, representative of the Cycle Trade of America, had charge of the event, and local cycle dealers donated about 48 prizes. There were nearly two hundred boys of different ages participating. The prizes were awarded for the best decorated wheel, oldest and youngest riders, comical make-up, scooter race and plank ride.

Minoru Ichinose won a memorandum book as the honorable mention for the best decorated bicycle. It was very artistically attired in a color scheme of blue and gold, alternating around the tire wheels, and handle bars trimmed with fluffy pom-pons on both sides of the front and back sprockets. The center "V" space of the wheel was decorated in bright blue with a golden bear in the middle.

Hirose Uchiyama carried off second prize in the scooter race. He won a Boy Scout pocket knife.

Probably the most exciting was the plank ride. One hundred boys entered this event of riding a narrow plank of wood five inches wide, half inch high, and 150 feet long.

The judges laid out five pieces of plank into a zig-zag pathway, making it more difficult to ride towards the end. Isei rode about fifteen times on the plank, or 2,2500 feet, breaking the record of last year.

Minoru Saito was also a participant in this bicycle meet. All of these four boys are members of Troop 16 of Fresno.

NISSEI 100-lb. BABES DOWN OAKLAND M. E. TIGERS, SATURDAY, 20-14

Nakayama, Yamamoto, Okada and Furuta Are Star Shooters

On Saturday night, the 100-pounders of the Berkeley Nissei Club traveled to Oakland to play the M. E. Tigers of the same weight, at the Oakland High School gym.

The Nissei "Babes" were out to get "kataki," having lost the first game, 12--13, and, as a result, they started out fast and led at the end of the first quarter, 8--5.

In the second quarter, both teams doubled their points, with Nissei leading at the end of the half, 16—10.

Second half found the Oakland boys trying hard to overcome the Berkeleyans lead, but every time a "Tiger" made a field goal, a Nissei "babe" would retaliate with another, and so the Berkeley boys got their "kataki" by the score of 20--14. Following were the players and their points:

For Oakland M. E.: Forwards--Okada (5) and Furuta (8); Center--Hirano; Guards--Aoki, Yamanouchi (1) and Arimoto.

For Nissei: Forwards--Nakayama (7), Yamamoto (5), Imamura (2) and Oshida (2); Center--Harano (2); Guards--Yoshimine (2), Miura and Takefuji.

コド・モのページ

一、「コド・モの作品募集」
一、「寫名コド・モ欄係」

日本のお友達の作品

雪

埼玉縣比企郡竹澤村 尋三 清水 保治

雪はふる〜
日も暮かけて
竹や小笹に白々
雪がつもれば
くび動かして
小さいお笹さまりなき
雪はふる〜
笹は重い
夜はくる〜 灯はさえる

日ぐれ

東京市下谷區根岸小學校 尋三 後藤 光子

オーオーオイ
日が暮かけたよ
みんなかへろ
小つまりンゴーうれしかろ
小さいお森のお寺から
ゴーンゴーンと
日が暮れた
ごはんを食べに
みんなかへろ

うぐひす

千葉縣四街道 齋藤 仲治

白い茶花し
だまされて
今日もさいなき
さびしかろ
すきなお梅は
まださかぬ
茶畑渡つて
なにをがす

寒い朝

郡馬縣新田郡世良田小學校 山岸一二

大根のはつぱは
こうてた
きこかで
目白が
ないてゐた

コルト童話

不思議な魚

昔マホメットと云ふ漁師がありました。彼が病氣で死ぬ時、妻に「自分が魚賣りであつた息子に云つてくれるな」と遺言した。息子は自分の職業をきめようと思つて、いろんな商賣に手出しましたが、それも思はしく行きませんでした。それからお母さんに死なれたむすこは、お金はもちろん、その日の食物もなくなつて困つてをりました。或日若者はお父さんの使つた古い網を見つけました。それからお父さんのやうに漁師になりました。或日大海へ出て魚をとりました。若者は賣るのを惜んでそれを井戸の中に入れておきました。若者が夕方から漁から歸つてみると、留守の間に、家の中がきれいに掃除されてゐるではありませんか。初めのうちは親切な近所の人がしてくれたのだらうと思つてゐた若者も、毎日毎日のことなので驚いてしまひました。それで若者は出掛けるやうなふりをして家の中にこつそり隱れてゐました。すると井戸の中から魚が躍り上がつて、めざめるやうな美しい娘に變りました。若者は眺ぎすてた魚の着物を焼いてしまひました。そこで魔法がとけて、娘は若者の妻になることを承知しました。それから美しい娘の噂が國中にひろがりました。たうとう王樣は娘を妃にしやうと決心されました。王樣は若者にいろんな難題を持ちかけて、それが出來なければ娘をもらひ上げると申渡しました。最初四十日のうちに黃金と金剛石の御殿を建てること、次は四十日で水晶の橋をかけること、三度目は卵の中から駿馬を出すことでした。

こんな風に次々に出されたこんな難題も、若者は娘の智わをかりてうまくやりました。王樣はがつかりしてあきらめてしまひました。それから若者と娘とは結婚し幸福な日を送りました。

▽入院隨時△
▼耳鼻咽喉科▼內外科▼小兒科▼眼科▼皮膚科▼產婦人科
日本病院
醫學博士 中村政治
電話フィルモア二〇〇四
桑港パイン街一八三七

▼產婦人科
公認產婆 上田產院
電話ウエスト五〇六八
桑港ウエブスター街一五二六

▼產婦人科
公認產婆 村山なみ子
電話フィルモア一七六一
桑港ポスト街一六二四

▼產婦人科
公認產婆 川口產院
電話フィルモア一九〇四
桑港ブラッシュ街一九〇七

公認 林產院
サター街一六二九
電話フィルモア五八四〇
助手 林イエ 大下トク

▼御料理▼
ポスト街一五四五
電話フィルモア三〇一九
お多福

グリー街一六一〇
電話ヴエスト六四二五
菊川亭

ブキャナン街一七一八
電話ウオルナット一一四八
うすぶみ

ブキャナン街一八六八
電話ウオナット四二二九
みどり

ポスト街一五四二
電話ダグラス八四八八
竹の家

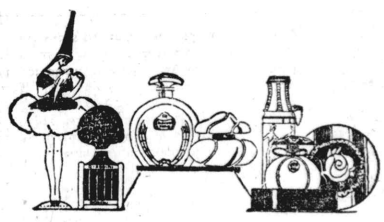
ポスト街一七一六
電話デベンポート七六八三
うづ巻

ポスト街一七一六
電話ヴエスト二四〇三
錦花樓

ポスト街一五四二
電話ヴエスト四三七九
金門商會

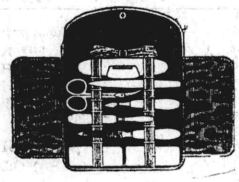
ポスト街一五二九
電話ヴエスト四三七九
かまぼこ
製造卸小賣
特に醫師答品は御註文次第出張
▲鮮魚料食品一切▼

ポスト街一五二九
電話ヴエスト四三七九
花の精より……洩れ出るその香りにも勝る
堀の……香水
▲コテー 二弗より
▲インデアンヘー 三十弗より
▲デアキツス 二弗廿五仙より
▲ユタスカ 一弗廿五仙より
▲ペンハー 七十五仙より
▲金鶴 七十五仙より
▲大山香水 一弗より
—其他歐米製香水各種—

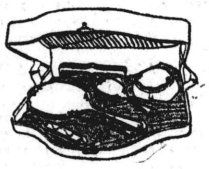


綺麗な…模樣入
香水吹き
七十五仙 一弗
一弗七十五仙 二弗五十仙
三弗 四弗

喫き誇った花の……
美しさにも勝る
春の御化粧顏は
『堀』の……
化粧品に依って



旅行用として
又は家庭用として
御婦人方の……
必須品である
◇純革ケース製
マニキユーセツト
十一弗より
……各種



体裁の……
……優美な
御婦人用
トイレツト
ケース
六弗
六弗五十仙
八弗五十仙
十弗
十一弗五十仙
十二弗五十仙
十五弗
十七弗五十仙
二十四弗
其他各種

羅府東第一街二二二一
堀見商会
231 E. FIRST ST., LOS ANGELES. Phone VA (ヴアンダイク) 0607